

# 大宮地区学校適正配置（案）について

## I 学校適正配置（案1）：統合校を現大宮小学校の位置に設置する。

### (1) 学校適正配置（案1）の考え方

大宮小学校は周りを戸建ての住宅街に囲まれ、落ち着いた環境の中にある。また、バス通りに面しており、大型スーパーや商店街が近くにあるなど、地域の中心に位置すると考えられる。近隣には保育所や公民館、敷地内には大宮いきいきセンターがあり、小学校との関わりはとて深い。そのような環境を生かし、地域コミュニティの中心としての役割を担った統合校を設置する。

### (2) 統合のスケジュール（最短の例）

統合校名	統合前の学校名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
大宮 統合校	大宮小	通常使用	設計期間	改修工事等	移転	統合小学校	移転	統合小学校	統合小学校(小中施設一体型)
	大宮台小	通常使用							
中学校	大宮中	通常使用						跡施設	

小学校の統合は、仮校舎方式で行い、2023年度に、改修された大宮小学校に移転をする。その後、中学校が3学級になるときに（現時点での推計上は2025年度）中学校も移転し施設一体型小中一貫教育校化を目指す。

### (3) 施設使用のイメージ（2025年度小中施設一体型、小学校6学級、中学校3学級を想定）

#### ●改修された大宮小学校(例)

・中学校の特別教室については、増設が必要。小学校と共同の使用については、検討する必要がある。  
 ・体育の授業は、小中共に旧大宮小体育館で行い、休日の体育館を使用する部活動や、小学校体育館を使えない種目については旧大宮中学校体育館を検討する。  
 ・その他、部室棟が必要。

**赤枠** 普通教室使用可能の教室  
**黄枠** 特別支援教室  
**緑枠** 改修した普通教室  
**青枠** 現在普通教室として利用している教室  
**紫枠** 所管が変わった教室

## II 学校適正配置（案2）：統合校を現大宮台小学校の位置に設置する。

### (1) 学校適正配置（案2）の考え方

大宮台小学校の周辺は、森や畑などが散在しており、自然環境に恵まれている。近くには、神社もあり町の歴史が感じられる位置にある。また、中学校が隣接しており、日常的に小中の交流ができる。そのような環境の中で、将来的に小中学校の両施設の機能を十分に生かした施設一体型小中一貫校の設置を見据えた統合を行う。

### (2) 統合スケジュール（最短の例）

統合校名	統合前の学校名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大宮台 統合校	大宮小	通常使用	設計期間	改修工事等	移転	統合小学校	統合小学校(小中施設一体型)
	大宮台小	通常使用					
中学校	大宮中	通常使用				跡施設	

2021年度に、仮校舎である大宮小で統合する。2年間をかけて大宮台小学校の改修工事を行い、2023年度に隣接する中学校の施設も使った小中一貫教育校化の統合校を設置する。

### (3) 施設使用のイメージ（2023年度小中施設一体型、小学校6学級、中学校5学級を想定）

#### ●改修された大宮台小学校(例)

・大宮中の校舎は、A棟のみを使うこととし、B棟、C棟の使用については検討をする。  
 ・体育館は、小学校、中学校ともに使用する。  
 ・大宮台小校舎と大宮中校舎を渡り廊下等でつなげ、教職員、児童生徒が行き来できるようにする。

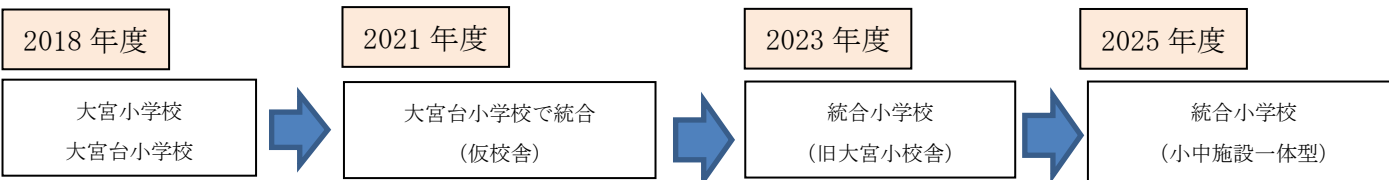
**赤枠** 普通教室使用可能の教室  
**黄枠** 特別支援教室  
**緑枠** 改修した普通教室  
**青枠** 現在普通教室として利用している教室  
**紫枠** 所管が変わった教室

#### ●旧大宮中校舎A棟

### (4) その他

- ・通学路の変更に伴い、統合校安全指導員を配置するとともに、通学路のカラー化計画を推進する。
- ・通学区域については、学区外通学承認地域の指定を行うなど、地元の要望を聞いて柔軟に対応する。
- ・大宮台小は現在子どもルームがないため、学校の敷地内に設置できるように検討する。
- ・児童の心理的な側面に配慮し、統合新設校には、統合前の職員をバランスよく配置するとともに、スクールカウンセラーが教育相談を行う。
- ・特別支援学級を統合校にも設置し、環境の整備を行う。
- ・スクールバス等の導入については、地元代表協議会や統合準備会で協議する。

**赤枠** 普通教室使用可能の教室  
**黄枠** 特別支援教室  
**緑枠** 改修した普通教室  
**青枠** 現在普通教室として利用している教室  
**紫枠** 所管が変わった教室



### (4) その他

- ・通学路の変更に伴い、統合校安全指導員を配置するとともに、通学路のカラー化計画を推進する。
- ・大宮いきいきセンターが現在の大宮小に設置されているが、統合新設校になっても継続して設置する予定である。
- ・大宮小では、子どもルームが学校敷地内に設置されているが、統合校が大宮小に設置された場合にも継続して運営できるように検討する。
- ・児童の心理的な側面に配慮し、統合新設校には、統合前の職員をバランスよく配置するとともに、スクールカウンセラーが教育相談を行う。
- ・特別支援学級を統合校にも設置し、環境整備を行う。
- ・スクールバス等の導入については、地元代表協議会や統合準備会で協議する。